

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

児童発達支援管理責任者

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	講義1「児童発達支援管理責任者の役割に関する講義」
○	2 関連する研修目標	児童福祉法における障害児支援制度や支援内容、支援の質を確保するために必要な児童発達支援管理責任者の基本的な役割を中心に障害者総合支援法の機能についても学ぶ。
○	3 担当講師名	北海道障害者保健福祉課 担当
○	4 担当講師略歴	
○	5 時間数	2時間
○	6 教科の目的	児童発達支援管理責任者・サービス管理責任者としての役割を理解する。
○	7 教科の概要	児童福祉法における障害児支援制度や支援内容、支援の質を確保するために必要な児童発達支援管理責任者の基本的な役割及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律における各事業の機能とサービス内容、サービスの質を確保するために必要なサービス管理責任者の基本的な役割等について解説
○	8 授業方法	講義
○	9 到達目標	児童福祉法における障害児支援制度、支援内容、児童発達支援管理責任者の役割を理解する。 障害者総合支援法における各事業の機能とサービス内容、サービス管理責任者の役割を理解する。
○	10 授業計画	1. 児童福祉法と支援提供管理 障害者総合支援法とサービス管理 2. 児童福祉法における支援提供及び 障害者総合支援法におけるサービス提供 3. 児童発達支援管理責任者及びサービス管理責任者について
	11 準備学習	児童福祉法、障害者総合支援法に目を通す。
	12 教科書・参考書	講義用テキスト
	13 注意事項	時間厳守
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

児童発達支援管理責任者

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	講義2 「支援提供及びサービス提供のプロセスと管理 ①」
○	2 関連する研修目標	支援提供及びサービス提供のプロセス全体を解説するとともに、児童発達支援管理責任者及びサービス管理責任者がそのプロセスにどのように関わるかを具体的に解説
○	3 担当講師名	重泉 敏聖
○	4 担当講師略歴	平成12年4月～平成20年9月 共同作業所 ヨベル 就労支援員 平成20年10月～ 就業・生活応援プラザ とねっと センター長
○	5 時間数	1時間
○	6 教科の目的	支援提供及びサービス提供のプロセス全体を理解する。
○	7 教科の概要	支援提供及びサービス提供のプロセス全体を解説する。
○	8 授業方法	講義
○	9 到達目標	支援提供及びサービス提供のプロセス全体を理解する。
○	10 授業計画	1 支援提供の基本的な考え方 2 支援提供のプロセス (1)初期面接時の状況把握 (2)アセスメント (3)個別支援計画の作成 (4)個別支援計画の実施 (5)中間評価と修正 (6)終了時評価
	11 準備学習	児童福祉法、障害者総合支援法に目を通す。
	12 教科書・参考書	講義用テキスト
	13 注意事項	時間厳守
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

①本人主体の支援方法を理解すること

②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること

③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

児童発達支援管理責任者

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	実践報告1「支援提供職員と関係機関の連携及びサービス提供者と関係機関の連携①」
○	2 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	3 担当講師名	金澤 俊文
○	4 担当講師略歴	昭和57年4月～59年3月:名古屋市児童福祉センター(嘱託セラピスト) 昭和59年4月～60年3月:札幌市かしわ学園(指導員) 昭和60年4月～平成18年3月:北海道立太陽の園発達援助センター(主任心理士) 平成18年4月～平成21年3月:北海道社会福祉事業団もなみ学園指導課主査(心理士) 平成21年4月～現在に至る:社会福祉法人麦の子会地域支援部長(心理士) (平成22年11月～現在に至る:姫路大学教育学部こども未来学科通信教育課程非常勤講師) (平成29年6月～現在に至る:国のサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修会講師)
○	5 時間数	1時間
○	6 教科の目的	実践報告を聞き、事業者又は支援提供職員とそれを取り巻く様々な関係機関等とのネットワーク構築について学ぶ。
○	7 教科の概要	実際のサービス提供現場における、事業者又は支援提供職員とそれを取り巻く様々な関係機関等とのネットワーク構築及び支援提供現場における、事業者又は支援提供職員と各関係機関等とのネットワーク構築の事例解説
○	8 授業方法	講義
○	9 到達目標	実践報告を聞き、事業者又は支援提供職員とそれを取り巻く様々な関係機関等とのネットワーク構築について理解する。
○	10 授業計画	事例報告
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	講義テキスト
	13 注意事項	時間厳守
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

①本人主体の支援方法を理解すること

②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること

③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

児童発達支援管理責任者

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	実践報告2「支援提供職員と関係機関の連携及びサービス提供者と関係機関の連携②」
○	2 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	3 担当講師名	金澤 俊文
○	4 担当講師略歴	昭和57年4月～59年3月：名古屋市児童福祉センター（嘱託セラピスト） 昭和59年4月～60年3月：札幌市かしわ学園（指導員） 昭和60年4月～平成18年3月：北海道立太陽の園発達援助センター（主任心理士） 平成18年4月～平成21年3月：北海道社会福祉事業団もなみ学園指導課主査（心理士） 平成21年4月～現在に至る：社会福祉法人麦の子会地域支援部長（心理士） （平成22年11月～現在に至る：姫路大学教育学部こども未来学科通信教育課程非常勤講師） （平成29年6月～現在に至る：国のサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修会講師）
○	5 時間数	1時間
○	6 教科の目的	実践報告を聞き、事業者又は支援提供職員とそれを取り巻く様々な関係機関等とのネットワーク構築について学ぶ。
○	7 教科の概要	実際のサービス提供現場における、事業者又は支援提供職員とそれを取り巻く様々な関係機関等とのネットワーク構築及び支援提供現場における、事業者又は支援提供職員と各関係機関等とのネットワーク構築の事例解説
○	8 授業方法	講義
○	9 到達目標	実践報告を聞き、事業者又は支援提供職員とそれを取り巻く様々な関係機関等とのネットワーク構築について理解する。
○	10 授業計画	事例報告
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	講義テキスト
	13 注意事項	時間厳守
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

児童発達支援管理責任者

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	講義3 「支援提供及びサービス提供のプロセスと管理 ②」
○	2 関連する研修目標	支援提供及びサービス提供のプロセス全体を解説するとともに、児童発達支援管理責任者及びサービス管理責任者がそのプロセスにどのように関わるかを具体的に解説
○	3 担当講師名	重泉 敏聖
○	4 担当講師略歴	平成12年4月～平成20年9月 共同作業所 ヨベル 就労支援員 平成20年10月～ 就業・生活応援プラザ とねっと センター長
○	5 時間数	1時間
○	6 教科の目的	支援提供及びサービス提供のプロセス全体を理解する。
○	7 教科の概要	支援提供及びサービス提供のプロセス全体を解説する。
○	8 授業方法	講義
○	9 到達目標	支援提供及びサービス提供のプロセス全体を理解する。
○	10 授業計画	1 支援提供の基本的な考え方 2 支援提供のプロセス (1)初期面接時の状況把握 (2)アセスメント (3)個別支援計画の作成 (4)個別支援計画の実施 (5)中間評価と修正 (6)終了時評価
	11 準備学習	児童福祉法、障害者総合支援法に目を通す。
	12 教科書・参考書	講義用テキスト
	13 注意事項	時間厳守
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

児童発達支援管理責任者

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	講義4 「アセスメントの支援提供の基本姿勢」
○	2 関連する研修目標	アセスメントやモニタリングの手法に関する講義
○	3 担当講師名	金澤 俊文
○	4 担当講師略歴	昭和57年4月～ 59年3月:名古屋市児童福祉センター (嘱託セラピスト) 昭和59年4月～ 60年3月:札幌市かしわ学園(指導員) 昭和60年4月～ 平成18年3月:北海道立太陽の園発達援助センター (主任心理士) 平成18年4月～ 平成21年3月:北海道社会福祉事業団もなみ学園 指導課主査(心理士) 平成21年4月～ 現在に至る:社会福祉法人麦の子会地域支援部長 (心理士) (平成22年11月～現在に至る:姫路大学教育学部こども未来学科通信 教育課程非常勤講師) (平成29年6月～現在に至る:国のサービス管理責任者・児童発達支援 管理責任者指導者養成研修会講師)
○	5 時間数	3時間
○	6 教科の目的	アセスメントとサービス提供の基本姿勢について学ぶ
○	7 教科の概要	アセスメント技法や特に配慮しなければならないポイントについて解説
○	8 授業方法	講義
○	9 到達目標	アセスメントとサービス提供の基本姿勢について理解する
○	10 授業計画	児童発達支援分野概論 ・ 支援提供の基本姿勢・ポイント ・ アセスメントのポイント ・ 支援管理プロセスの実際 ・ 支援プロセスの評価
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	講義テキスト
	13 注意事項	時間厳守
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

児童発達支援管理責任者

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習1「支援提供プロセスの管理の実際 事例研究①(アセスメント編)」
○	2 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	3 担当講師名	金澤 俊文、金子 志
○	4 担当講師略歴	<p>金澤 俊文 昭和57年4月～ 59年3月:名古屋市児童福祉センター (嘱託セラピスト) 昭和59年4月～ 60年3月:札幌市かしわ学園(指導員) 昭和60年4月～ 平成18年3月:北海道立太陽の園発達援助センター (主任心理士) 平成18年4月～ 平成21年3月:北海道社会福祉事業団もなみ学園 指導課主査(心理士) 平成21年4月～ 現在に至る:社会福祉法人麦の子会地域支援部長 (心理士) (平成22年11月～ :姫路大学教育学部こども未来学科通信教育課程 非常勤講師) (平成29年6月～現在に至る:国のサービス管理責任者・児童発達支援 管理責任者指導者養成研修会講師)</p> <p>金子 志 平成7年4月～ 現在に至る 社会福祉法人 楡の会 福祉部部长</p>
○	5 時間数	4時間
○	6 教科の目的	支援提供のプロセスに沿って支援が実施された事例に基づき、支援方針の基本的な方向性や利用者像の把握、目標設定などについて演習を通して学習する。
○	7 教科の概要	標準的な支援提供プロセスに沿って支援が実施された事例に基づき、支援方針の基本的な方向性や支援内容を左右する利用者像の把握や目標設定などの事項に重点を置いて演習を展開する。
○	8 授業方法	講義・演習
○	9 到達目標	支援提供のプロセスに沿って支援が実施された事例に基づき、支援方針の基本的な方向性や利用者像の把握、目標設定などについて演習を通して理解を深める。
○	10 授業計画	アセスメントの視点を学ぶ プランニングを意識したアセスメントを知る、考える ・背景や想いに迫るアセスメントを意識し、引き出す ・複数の人による多角的な見方や発想でニーズに迫るプロセスを体験する
	11 準備学習	事前課題を実施。
	12 教科書・参考書	分野別講義演習テキスト
	13 注意事項	事前課題の提出必須 時間厳守
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

①本人主体の支援方法を理解すること

②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること

③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

児童発達支援管理責任者

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習2「支援提供プロセスの管理の実際 事例研究②(個別支援計画編)」
○	2 関連する研修目標	②事業所における支援提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	3 担当講師名	金澤 俊文、金子 志、石山 玲子
○	4 担当講師略歴	<p>金澤 俊文 昭和57年4月～59年3月:名古屋市児童福祉センター(嘱託セラピスト) 昭和59年4月～60年3月:札幌市かしわ学園(指導員) 昭和60年4月～平成18年3月:北海道立太陽の園発達援助センター(主任心理士) 平成18年4月～平成21年3月:北海道社会福祉事業団もなみ学園指導課主査(心理士) 平成21年4月～現在に至る:社会福祉法人麦の子会地域支援部長(心理士) (平成22年11月～:姫路大学教育学部こども未来学科通信教育課程非常勤講師) (平成29年6月～現在に至る:国のサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修会講師)</p> <p>金子 志 平成7年4月～現在に至る 社会福祉法人 楡の会 福祉部部長</p> <p>石山 玲子 H6年4月～H10年3月 北海道教育大学 小学校国語科 H10年4月～H14年3月 函館市立亀田小学校普通級担任 H14年4月～H17年3月 北海道教育大学附属養護学校 中学部担任 H17年4月～H18年3月 北海道立美唄養護学校 小学部副担任 H18年4月～現在 社会福祉法人はるにれの里児童デイサービスさんりんしゃ 管理者・相談支援専門員</p>
○	5 時間数	3時間
○	6 教科の目的	事例研究①と同様に、アセスメント結果がすでに明らかとなっている状況から正確な個別支援計画書を作成・修正できるかと言った観点から演習を展開する。
○	7 教科の概要	より困難な事例を用いて、アセスメント結果がすでに明らかになっている状況から正確な個別支援計画を作成、修正する。
○	8 授業方法	演習
○	9 到達目標	より困難な事例を用いて、アセスメント結果がすでに明らかになっている状況から正確な個別支援計画を作成、修正することを理解する。
○	10 授業計画	収集したアセスメント情報を整理し、プランニングへつなげる ・本人の希望(夢)と先の見通し(現実)を持てるプランを意識する ・つくった個別支援計画の原案を本人が理解し、同意できるような提案をする ・自分たちの計画を本人がどう思ったか気づく、確認する。 ・個別支援計画の修正を行う。
	11 準備学習	提示された事例の読み込みを行う。
	12 教科書・参考書	分野別講義演習テキスト
	13 注意事項	時間厳守 課題の確認
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

①本人主体の支援方法を理解すること

②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること

③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

北海道サービス管理責任者等研修シラバス

児童発達支援管理責任者

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習3「サービス内容のチェックとマネジメントの実際(模擬会議)」
○	2 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	3 担当講師名	金澤 俊文、金子 志、石山 玲子
○	4 担当講師略歴	<p>金澤 俊文 昭和57年4月～59年3月:名古屋市児童福祉センター(嘱託セラピスト) 昭和59年4月～60年3月:札幌市かしわ学園(指導員) 昭和60年4月～平成18年3月:北海道立太陽の園発達援助センター(主任心理士) 平成18年4月～平成21年3月:北海道社会福祉事業団もなみ学園指導課主査(心理士) 平成21年4月～現在に至る:社会福祉法人麦の子会地域支援部長(心理士) (平成22年11月～:姫路大学教育学部こども未来学科通信教育課程非常勤講師) (平成29年6月～現在に至る:国のサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修会講師)</p> <p>金子 志 平成7年4月～現在に至る 社会福祉法人 楡の会 福祉部部长</p> <p>石山 玲子 H6年4月～H10年3月 北海道教育大学 小学校国語科 H10年4月～H14年3月 函館市立亀田小学校普通級担任 H14年4月～H17年3月 北海道教育大学附属養護学校 中学部担任 H17年4月～H18年3月 北海道立美唄養護学校 小学部副担任 H18年4月～現在 社会福祉法人はるにれの里児童デイサービスさんりんしゃ 管理者・相談支援専門員</p>
○	5 時間数	3時間
○	6 教科の目的	個別支援計画の作成に係る会議をシュミレーションし、サービス管理責任者としてサービス提供者が展開する様々なサービス内容をチェックし、支援チームに対するマネジメントの方法について学ぶ。
○	7 教科の概要	個別支援計画の作成に係る会議をシュミレーションし、サービス管理責任者としてサービス提供者が展開する様々なサービス内容をチェックし、支援チームに対するマネジメントの方法について演習する
○	8 授業方法	演習
○	9 到達目標	個別支援計画の内容をチェックし、その後のモニタリングにつなげることを学ぶ。
○	10 授業計画	個別支援計画の内容をチェックし、その後のモニタリングを行う。
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	分野別講義演習テキスト
	13 注意事項	時間厳守
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること